

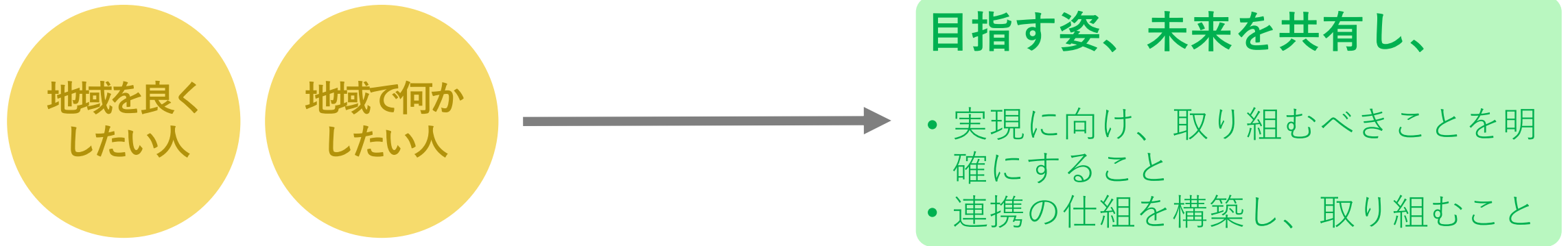
しおまちとワークショップ

2019年度 開催報告

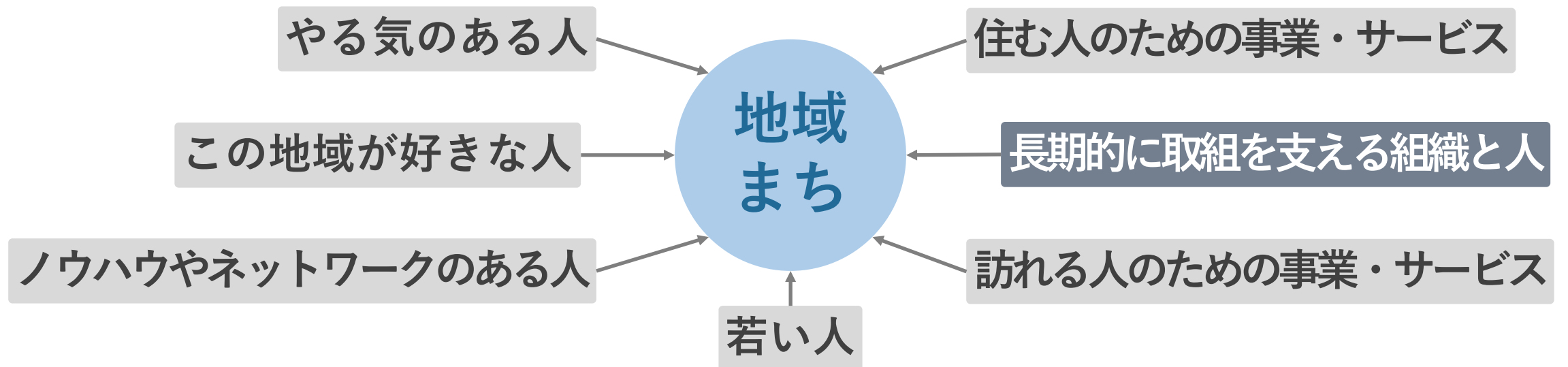
地域づくりの視点

4

1. 地域内外の人々が同じビジョンを共有すること。

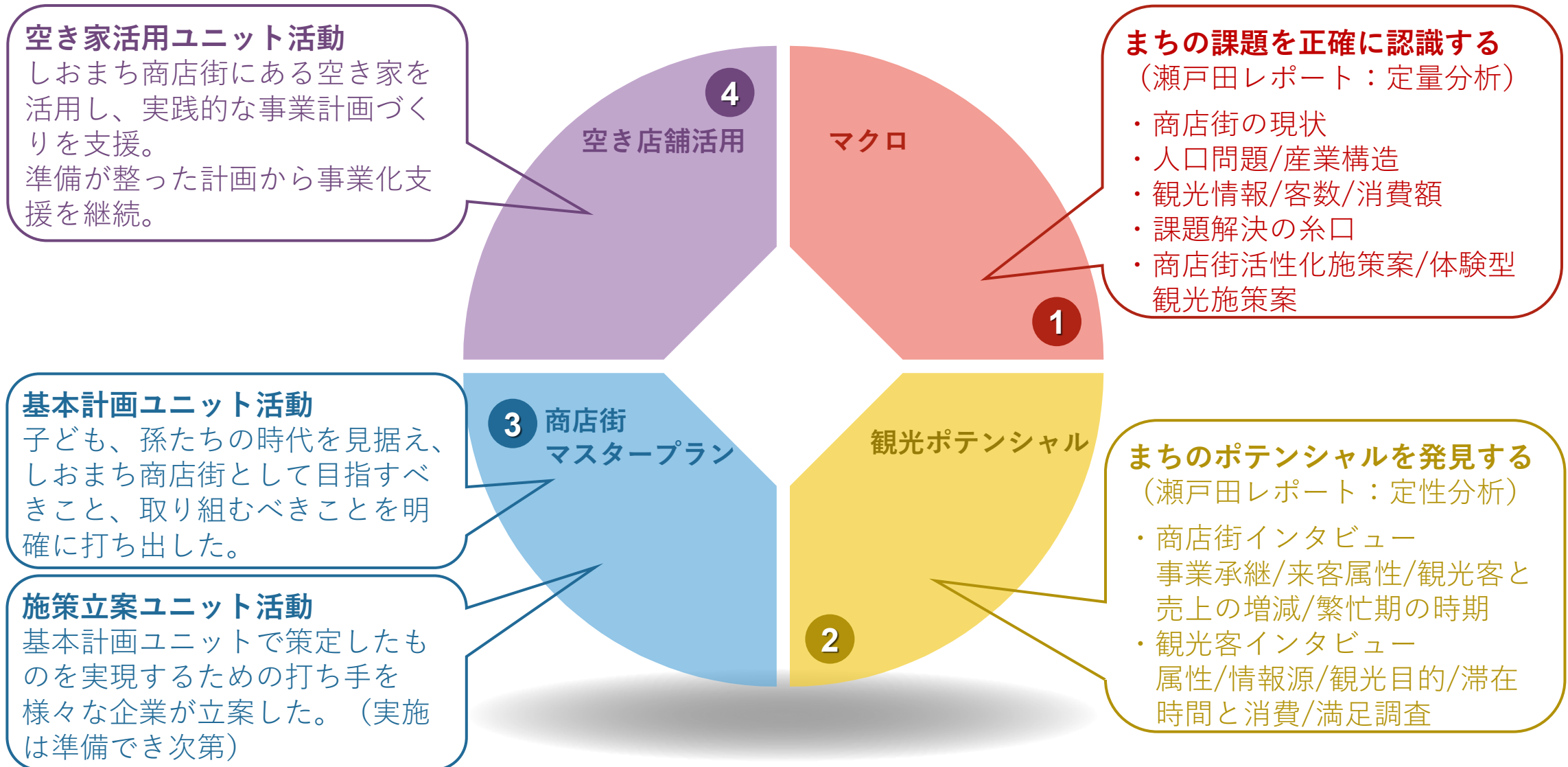


2. 地域内外から人財と投資が集まり続ける地域にすること。



前年度の振り返り

5



基本計画ユニット(約30名)、施策立案ユニット(4事業者)、空き家活用ユニット(3事業者)および聴講者等も含め累計200名以上が参加。3回のワークショップと最終発表会を行った。

成 果

- 地域内外のワークショップ参加者の関係構築
- 地域の機運醸成
- しおまち商店街のビジョンなどマスタープランの策定

課 題

- ワークショップ参加者以外への活動の拡がり
- 計画の具現化（特に空き物件活用の仕組み構築）
- 学校との連携

子ども、孫たちの時代を見据え、次なる50年の礎を築き、未来を切り拓くために、

- 目指す姿の実現に向け、地域内外の人々が連携すること。
- 地域内外の人財と投資が集まり続ける地域にすること。

(参考) 前年度の活動目的

- 計画にかかわる地域内外の人々が同じ方向を向くこと。
- 地域外の投資が集まる地域にすること。

【前年度決定事項】 しおまち商店街が目指す姿

8

しおまち商店街 ビジョン

※長期的に目指す姿、商店街の考え方の基軸

島の産業や観光資源、瀬戸内の中心にある立地を活かし、地域の方々の豊かな日常生活と観光客の非日常体験を提供できる、多様性のある商店街を目指します。

しおまち商店街が提供したい価値

地域の皆さま

- 気軽に行きたくなる商店街
- 島の人と情報が集まる商店街

子どもたち

- 瀬戸田に誇りを持ち、将来働きたいと思える商店街

商店街の仲間

- “one for all , all for one” 一体感のある商店街

観光の皆さま

- 地域の生活に触れられる商店街
- 瀬戸田やしまなみ海道の体験と滞在の拠点

新たな仲間

- 新たなチャレンジができる商店街

【前年度決定事項】 しおまち商店街の数値目標

9

しおまち商店街や地域内外の連携による様々な活動が、効果を発揮しているか判断・評価するため、2025年をターゲットとして、4つの定量的目標（重要評価指標）を設定。

1 子どもたちの
瀬戸田への愛着度

2025年目標

〇.〇ポイント

(参考) 2020年実績
〇.〇ポイント

2 地域の方々の
生活満足度

2025年目標

〇.〇ポイント

(参考) 2020年実績
〇.〇ポイント

3 観光客の滞在時間

2025年目標

〇.〇時間

(参考) 2020年実績
〇.〇時間

4 観光客の再訪意向率

2025年目標

〇〇%

(参考) 2020年実績
〇〇%

【前年度決定事項】 しおまち商店街の基本方針

10

●コンセプト

※誰もが言葉にできるキャッチコピー

住みたい街、しおまち
レモンとアートと人情と

【解説】

- ・ 島の人だけでなく、訪れた人さえも「ここに住みたい」と思える街づくり
- ・ 柑橘などの地域資源を大切にし、連携を図る
- ・ 海や昔ながらの景観を大切にする
- ・ 人情を決して忘れない

●目指す姿を実現するための5つの基本方針（2020-2025）

※地域内外が連携し、重点的に取り組むテーマと方針

